

第8回総合行政審議会（第16期）議事録

日時：令和4年1月28日（金）15：30～

場所：勝山市役所3階第1会議室

1 開会

2 議事

《第6次勝山市総合計画（案）第2編第3章について》

4つの「守る」-「1子育て・教育」について事務局から資料説明

山内委員

記載されている内容はこういったもので良いと思うが、教育理念ということで一つお題があると良い。市の活性化において、子の教育は非常に重要だと思う。

小泉綾委員

子育てや幼児教育について、戦略15ページの記載は子育てする親に対する支援を厚くするというような内容が主に記載されていると思うが、子どもを預かる保育の側に対して、市がどういうスタンスでいくかという視点を一つ入れていただきたい。

私立の保育園は非常に経営が苦しい状況。今後子どもの数も減っていく中で、市のスタンスが分からないと保育の側もきちんとしたサービスを提供していくことが出来ないと思う。

親が子育てをしやすくするために、それをサポートする側にどういう支援をしていくか、どういうスタンスでいくかということを記載していただければと思う。

塚本会長

戦略19ページの6つのルールとは何を指しているのか。

○未来創造課 辻

どのように青少年を育成していくかということで、勝山市青少年健全育成画というものがあり「毎日きちんと挨拶しよう」だとか「家族や友達、地域の人々とたくさん話をしよう」といった6つのルールが記載されている。

川端委員

結婚・出産・子育てを安心してできるまちということで、話を聞いていたが、具体的にどのような支援をしていただけるのかが分からない。

自身も一人の母の立場として困っていることというのはたくさんあるが、そういったことが解消されるのかということが聞いていて分からなかった。

より具体的な内容はどこかで示されるのか。

○未来創造課 辻

子ども子育て支援計画という個別計画で記載することとなる。そちらは総合計画ではなく、国の法律等に沿って策定されており都度都度見直しが入るような計画となっている。ご意見等いただく中で、子ども子育て支援計画の修正等の際に、反映していく形になるかと思う。

もちろん総合計画や総合戦略の中で、こうした方が良いといった方向性が定めれば、それに合わせて子ども子育て支援計画にも修正が入る形になる。

川端委員

市に意見を提案すれば反映されるとのことだが、私個人の意見のみならず、子育てで困っている市民の皆さんの意見がきちんと通りやすい環境になってほしいと思う。そういったものはどのように伝えたらよいのか。

○未来創造課 辻

今の保育の話で言えば、保護者と市長と語る会などがあり、またメールやお手紙等でも随時ご意見は受け付けている。

もちろんこの会議の報告も市長まで決裁を通してしている。

ありとあらゆる機会・方法でご提案いただきたい。きちんと市民の声を反映させていきたいと思う。

小泉綾委員

市長と語る会やお手紙などで意見を提案できて、そこで出た意見がきちんと市政にも反映されていくという話は理解できるが、では実際に、それはいつ、どのように開催されて、どのように反映されるかなど、どのような仕組みや制度なのかが分かるように、図などで示していただけるとありがたい。

○未来創造課 谷内

総合計画の5ページにも記載があるが、考え方や方向性が記載されているのが総合計画であり、もう少し噛み砕いたものが総合戦略である。

そしてこの総合行政審議会でも毎年度外部評価を行い、事業の見直し、予算編成を行っている。予算編成計画が実質上の実行計画となる。これを総合計画、総合戦略に基づいて実施していく。文章だけだと分かりにくいと思うので、図示したい。

○未来創造課 辻

行政に意見を提案するという場合、例えば川端委員の年代だと、こういった方法がよいか。

川端委員

例えば意見票を一人ひとりに配っていただくようなやり方だと良い。保育園で集約するようなやり方ではなく、個人個人の意見が直接市長に届くようなやり方が良い。

○未来創造課 辻

自身も保護者連合会の会長の経験があるが、意見集約の段階で削られる意見というのにも確かにあった。それはそれで形式的なやり方として良いと思うが、色々な手法を検討したい。

○未来創造課 谷内

今ほど申し上げたような広聴の部分の仕組みということも、先ほどの図示の部分に取り込んで表現したい。今年度も市民意見交換会を開催したが、毎年やってくれという意見もあった。きちんと市民も巻き込んでやっていきたい。

塚本会長

学校の中だけではなく、地域の歴史や、ふるさと教育、地域の課題解決に向けた内容など、地域に視点を広げた教育についても記載があるとよい。

4つの「守る」-「2福祉・健康」について事務局から資料説明

富田委員

戦略23ページ、基本的な方向性3の については、ここに記載するよりも「4防災減災・生活環境」に記載したほうがよいのではないかと。

○未来創造課 辻

災害が起きた際の感染症対策をどのようにするのかという部分で試行錯誤し

ている面がある。この記載方法だどご指摘のとおり並列表記になっており誤解が生じるため、修正させていただく。

○未来創造課 谷内

スポーツは競技スポーツと生涯スポーツがあると思うが、これからは競技スポーツのみならず、健康づくりのためのスポーツが重要だと思っている。

来年度の機構改革でスポーツ課が健康長寿課と一緒になる。

健康づくりのためのスポーツ、高齢者のフレイル予防のためのスポーツなどにも力を入れていきたい。

富田委員

計画の44ページに、高齢者の就業支援について記載されているが、ここで言う雇用支援というものは、国等の関係機関と連携していくことを想定しているのか。それとも市独自の支援を検討しているのか。

介護人材についても、同様にお聞きしたい。

○未来創造課 辻

どちらの支援についても、勝山市単独では限界があるため、国等と連携を図りながら進めていきたい。

大石橋委員

戦略22ページの基本的な方向性1について、普及啓発は現在も実施していると思うが、それらをどのように変えていくのか。

○未来創造課 辻

今までやってきたからそのまま続けるということではなく、エビデンスに基づいて効果的な事業を実施していきたい。担当にもきちんと念押しをする。

立平委員

戦略22ページの について、毎年企業が実施している定期健康診断に実施できるような計画・対策があればよい。

また、マイナンバーカードで健康保険証を兼用できるようになっているが、お薬手帳などのデジタル化も一緒に進めるような対策を講じていただきたい。

また、民生委員の活動は理解できるが、人口が減少し、各地域でも引き受け手が無い状況下で、民生委員に代わる体制も必要なのではないかと思う。

塚本会長

先ほど話もあったように、スポーツに関しては競技的な面と、健康づくりという面の2面性があると思うので、しっかりと区別して見える化してほしい。

4つの「守る」-「3産業・経済」について事務局から資料説明

小泉綾委員

地元の企業としての立場で発言させていただく。

戦略33ページについて、外からの誘致も良いが、そうすると必ずそこには雇用が発生する。既存の企業の人材不足や、そもそも呼んだはいいが働く人がいないというようなことにならないようにしていただきたい。今ある企業にもよく目を向けてほしい。

データセンターの誘致については、勝山市は地盤が非常に安定しているため、向いているという話を聞く。しっかりとアピールしていけるとよい。

戦略34ページのU・Iターンについて、私の会社でも住宅手当の支援等の整備を検討している。市も支援してほしい。

戦略37ページについて、 の特定地域づくり事業協同組合とは何を指しているのか。

○未来創造課 辻

企業誘致について、市長も度々言っているが、企業だけ呼んでも仕方ない。働く人もセットで誘致していく。

国のデジタル田園都市構想でも、地方にデータセンターをとという話がある。国に積極的に働きかけたい。

林業従事者で例えると、夏は仕事があるが、冬は仕事がないということがあがる。そういったケースにおいて、市と連携して、人材派遣会社のようなことができないか検討している。国からの支援もある。

山内委員

U・Iターン者への支援は当たり前として、その人達に市内で働いてもらうというのも良いと思うが、中部縦貫自動車道の開通などで交通の便も非常に良くなったため、福井のベッドタウン化という方向性も一つかと思う。

塚本会長

35ページの住環境の整備と、44ページの空き家対策については、関連した内容だと思う。関連性が分かるように記載すると良いと思う。

○未来創造課 辻
分かりやすく記載する。

大石橋委員

34ページについて、サテライトオフィスの記載があるが、コロナの関係でリモートワークも盛んになっている。そういった人もターゲットにするとよい。空き家の話に関連して、ネットワークを整備した家を提供できるとよい。

小泉綾委員

リモートワークを狙った場合、ネットワーク環境が整っているというのはどこも一緒。勝山が選ばれるためには、何度もいうが、勝山の強みが必要。勝山市の横の連携をしっかりとしてほしい。

○未来創造課 谷内

子育て環境が充実していることなど、しっかりと押し出していきたい。

4つの「守る」-「4防災減災・生活環境」について事務局から資料説明

立平委員

災害時の避難は非常に困難な状況にあると思う。避難所に行くことが全てではないと考え、市民の防災等の意識向上を少しでも良いので図っていくことが大切ではないかと思う。

避難所へ行けば何でも揃っているという人は多いと思う。

川端委員

マイナンバーカードが健康保険証として使える場所は現状では勝山総合病院しかないと思う。他の病院へ導入するには様々な障害があると思うが、問題・課題をしっかりと分析し、行政として対応できることは進めるような計画をしていただきたい。

小泉多委員

市内外の方が利用しやすい交通体系の構築とあるが、恐竜博物館の来館者等をターゲットとしているのか、地元の市民を対象にしているのか。

○未来創造課 辻

ロケーションシステムについて、地域内交通を想定している。先行して野向で実施を検討している。

小泉綾委員

戦略48ページ、基本的な方向性3について、免許を返納された方に対するサポートをしていただきたい。

戦略50ページについて、ゼロカーボンシティを目指すのであれば、一番排出しているのは企業、特に製造業だと思う。しっかり指導等お願いしたい。

塚本会長

空き家バンクについては、アピールや利用促進に際して、NPOや地域の活用も検討してほしい。

山内委員

防災活動について、戦略42ページの自主防災組織や45のページ自営消防団などいくつかあるが、どういった系統分けになっているのか。

中村委員

うちの地区でも2つに分かれていると思うが、なぜ二つあるのかはよく分からない。

山内委員

スリム化するとよいのではないか。

○未来創造課 谷内

自主防災組織については、制度的な話で、組織すると補助が降りるという面もある。消防団については昔ながらの自警団の側面がある。メンバーが一緒ということもある。自主防災組織によって防災力を高めていく。

山内委員

要介護住宅などの、実際に災害が起きた時に支援に向かわないといけない世帯があるが、個人情報関係で立ち入り辛い面もある。何か制度的な面で解消できればと思う。

中村委員

新たな成り手がいないため、民生委員などの役割を担っている人が、その立場を抜け出せない。負担が大きい。

○未来創造課 谷内

ご指摘の点が一番の課題。大きな地区と小さな地区で同じようにやるというのには限界がある。柔軟に対応していく。

立平委員

「まちなかでの空き店舗等を活用した…」とあるが、本当に利用する出店者がいるのか、リサーチは必要。

また「少子高齢化に対応し消防団員の減少傾向を食い止め」は数だけ維持しても駄目であり、発災時に本当に活動できる組織をどうするかが重要なのではないか。福井で勤務している団員がいざという時に参集は不可能。

また「各地区等が設置するLED街路灯の設置および交換に対する補助を実施」は現状でもありますが、維持管理は地区であり人口減少のことを考えると石碑が減少する中で、維持できるのか疑問。

塚本会長

戦略43ページの はハザードマップのことか。

○未来創造課 谷内

ハザードマップについて、春頃に配布を予定。

塚本会長

危険地域については、強制はできないと思うが、住み替え等支援できるとよい。

川端委員

実際に移住をしてみて感じた、支援の不足しているところを充実させるために、意見交換会等コンスタントに開催してほしい。

また、移住支援に魅力を感じないので、移住希望者は中々いないのでは？お試し移住体験の見直しも必要。インターネット回線がないのは厳しい。

立平委員

行政が高速ネットワークを整備することも一つの案かもしれない。

「ごみの分別および減量、リサイクル促進」はもう少し具体的に記載したほう

が良いと思う。個人の意識に訴えることなので中々進まないと思うが、今後はここまで勝山市はゴミ分別を促した方が良く個人的には思う。

3 閉会